

学校だより

No.9 令和7年7月15日

有田小 HP の

QR コードは

こちらです。



# とうぎん

有田町立有田小学校 校長 山口 英一



## 授業参観 情報モラル教室 ご参観ありがとうございました

7月4日の授業参観・情報モラル教室には、お忙しい中にご来校くださり、本当にありがとうございました。

授業参観では、子どもたちは少し緊張しながらも、保護者の方に見守られていることで、いつも以上に頑張っているようでした。お子さんの様子を見られて、少しでも成長を感じてくださったならうれしく思います。

また、情報モラル教室では人権擁護委員さんと本校職員の話聞いていただきました。スマホやインターネットはとても便利なものですが、正しい使い方を知らないとトラブルに巻き込まれてしまうこともあります。ご家庭のマイルールづくりでは、親子で一緒に「どんな使い方が安全?」「どんなことに気をつければいい?」と考えるよい機会になったのではないかと思います。

これからも学校と家庭が情報共有をしながら、子どもたちが安心できる環境づくりをしていきたいと思ひます。



## やきものづくり ~ 土とのふれ合い ~

2・6年生に続いて、1・3・4・5年生がやきものづくりを行いました。やきもの先生は、1年生が辻浩喜さん、3年生が村上邦彦さんと久美子さん、4年生が丹山未由紀さん、5年生が辻拓真さんです。子どもたちは、自分の思い通りにならないことがありながらも、土の感触を楽しみつつ、自由な発想を形にして世界に一つだけの作品を完成させました。

地域の方とふれ合いながら、土という自然素材と向き合う有田町ならではの体験は、豊かな感性や創造力を育む貴重な学びです。ご指導、本当にありがとうございました。



6/26 1年生



6/27 3年生



7/2 5年生



7/3 4年生

## 租税教室

7月10日、6年生を対象に「租税教室」を実施しました。今回の授業では、伊万里有田法人会や関係の方々を講師にお迎えし、税金の種類やその役割について学びました。

6年生は1学期の初めに、社会科で税の学習をしていますが、(法人会作成の)『人生ゲーム』を通して、税金が学校や道路、消防・救急など、私たちの生活に欠かせない様々なサービスを支えていることを改めて確認しました。また、授業後には1億円のレプリカを実際に見たり持ったりし、お金の重さや大切さを実感しました。

税金について学ぶことは、これから社会へ出るための準備を進めていく6年生にとって大切な一歩になります。ご家庭でも、日々のニュースや生活の中で税について話題にしてくださいと、より一層理解が深まると思ひます。



## 思春期教室

7月11日、5年生を対象に「思春期教室」を実施しました。思春期は、心も体も大きく変化する大切な時期です。今回の授業では、子どもたちがこれから迎える成長について、正しい知識をもち、自分自身の体や命を大切にする気持ちを育てることを目的としました。

講師として、全国の子育て教室、母親学級の講演活動などでご活躍の熊丸みづ子先生をお招きしました。子どもたちは、熊丸先生の軽快な話や質問に笑顔で答えながらも、真剣に話を聞き、自分の体の変化や心の成長について学んでいました。

思春期については、ご家庭でも話題にすることが少ないかもしれませんが、学校での学びをきっかけに、ぜひ親子で気軽に話せる時間をもってくださいと思います。子どもたちの心と体の成長を、学校と家庭とで一緒に見守っていきましょう。



## おもちゃランド開園 ～みんなの笑顔があふれた日～

なかよし1・2組の子どもたちが「おもちゃランド」を開催しました。全校の子どもたちを招待し、子どもたちが手作りした迷路やおもちゃなどで楽しんでもらいました。事前の準備では、どうすれば喜んでもらえたり、遊び方を分かりやすく伝えたりできるかを考え、協力して取り組みました。開催期間中は、来てくれた友達の「すごい」「楽しい」という声に笑顔が広がりました。

この活動には、たくさんの教育的意義があります。自分にできることがあるという「自己肯定感」、人と関わる力や説明する力などの「コミュニケーション能力」、みんなで協力する「協調性」や「役割意識」、交流を通じた「多様性の理解」や「思いやりの心」などを育てています。

「おもちゃランド」は子どもたちの成長が見られるすてきな活動になりました。今後も、子どもたちが自分の力を発揮し、たくさんの人と関わりながら学べるような機会を大切にしていきたいと思っています。

## 世界一大きな絵 EXPO 2025

有田町からの依頼で、「世界一大きな絵」の制作に全校児童で取り組んでいます。これは、全国47都道府県及び海外の子どもたちが、それぞれ1枚の布(5m×5m)に「いのち」などをテーマに絵を描き、その後、それらを縫い合わせることで、ひとつの巨大な共同作品「世界一大きな絵」を完成させるというプロジェクトです。この過程を通じて、子どもたちが国や宗教・人種の壁を越えて協力し合い、共通の喜びと平和への意識を分かち合うことを目指しているそうです。

佐賀県で取り組んでいるのは有田小学校だけで、県を代表しての活動ということになります。子どもたちは、有田町の焼き物や四季の移り変わりなどを、テーマの「いのち」とリンクさせながら、大きな布に楽しそうに描いています(1m×5mの5枚に分割してある布に描いています)。

完成した「世界一大きな絵」は、8月18日から22日までの間に、大阪万博会場で各都道府県毎日8枚ずつ、最後の日に16枚展示されるそうです(有田小学校の絵がいつ展示されるのかは分かっていません)。

現在、完成に向けて頑張っているところです。完成後に写真撮影をします。写真は学校だよりで紹介する予定です。どうぞお楽しみに!

